



図書館通信

最上校図書委員会 No.8 7月5日

令和6年度 校内読書感想文コンクールを実施します

1. 応募対象 全校生徒
2. 対象図書 ①自由図書
②校外コンクール課題図書（課題図書は図書館にあります）
3. 字数・用紙
 - ①400字詰め原稿用紙4枚以上、5枚以内（1600字以上2000字以内）
 - ②本文は、用紙1枚目の1行目から書いていくこと
 - ③応募票に、学年・出席番号・名前・読書感想文の題名・書名・著者名・出版社を書くこと
 - ④原稿用紙・応募票は、学校指定のものを配布
4. 提出日 8月27日（火）クラス担任に提出
5. 審査 8月27日（火）～9月6日（金）第一次審査
9月10日（水）～9月13日（金）第二次審査
9月17日（火）最終審査
6. 表彰 入選作品を表彰し、「読書感想文集（生徒会誌）」に掲載する



読書感想文課題図書

笑いあり、涙あり、夏の暑さに負けない
心を打つ物語がここに・・・！
指定された理由がここに・・・！！

第70回青少年読書感想文全国コンクール

『宙わたる教室』 伊与原新著

東京・新宿にある都立高校の定時制。そこにはさまざまな事情を抱えた生徒たちが通っていた。もう一度学校に通いたいという思いのもとに集った生徒たちは、理科教師の藤竹を顧問として科学部を結成し、学会で発表することを目標に、火星のクレーターを再現する実験を始める。今年一番熱い青春科学小説！



『優等生サバイバル 青春を生き抜く13の法則』 ファン・ヨンミ著



成績に一喜一憂する寝不足な日々。

さらに、はじめてのホントの恋まで！ さあ、どうする？テスト、課題、進路、SNS、そして恋。1日は24時間。やらなきゃいけないこと、考えなきゃいけないことは満載！！ ハードな高校生活を生き抜くために、“優等生”のジュノが見つけた法則とは？未来のための今も、今のための今も、どちらも大切なぼくたちの時間。

『私の職場はサバンナです！』 太田ゆか著

大好きな動物を守りたい。南アフリカ政府公認・唯一の日本人女性サファリガイドが伝えたい知られざるサバンナの動物たちの生態、環境保護の最前線、人と自然が共生するために大切なこと。



長期貸出のお知らせ

7月22日（月）～8月27日（火）まで、図書館から本を5冊借りることができます。夏季休業中に読む本をぜひ貸りてください。

夏季休業：7月29日（月）～8月26日（月）

冊数：2冊 → 5冊

※夏季休業前に、今借りている本を一度返却してください。

第57回 YBC 読書感想文コンクール

7月図書館企画 課題図書特集

ちょっと、早いけど、早めに選んでおこう！



『街に躍ねる』 川上佐都著

高校生の達は、晶にとって誰よりも尊敬できる最高の兄ちゃんだ。でもそんな兄ちゃんは、他の人から見ると「普通じゃない」らしい。同級生や大家さんとの会話を通じて、初めて意識する世間に戸惑い葛藤する晶だが、兄と交わした言葉を胸に日々を懸命に生きていく。読んだ後にきっと誰かを大切にできる、人と人との関わりの物語。

『ゴースト』 ジェイソン・レノルズ著

キャスは、自分のことを逃げ足の速さから呼び名は”ゴースト”にした。ひょんなことから地元の陸上チームに入ることに。それぞれ悩みをかかえるチームメイトや監督との関係を通して、自分の才能、そして弱さと向き合っていくことに……。



『おしゃべりから始める 私たちのジェンダー入門』 清田隆之著

あのと時悩んだあのことは、全部ジェンダーの問題だったのかも？ジェンダーを自分事として考えるために。

『未来への地図』 星野道夫著

温かな心と大きな夢を持ってアラスカに生きた写真家・星野道夫が、進路に迷う若者たちへ捧げた、明日への勇気が湧いてくる魂のメッセージ。



『ルール！』 工藤純子著

知里たちは、理不尽な校則を変えようと立ち上がる。学校生活の規律や校則を自分たちで考えることは、途方もなく大変だという現実突き当たる。はたして、校則を変えることができるのでしょうか？現実の社会でも、あまりに理不尽な「ブラック校則」に注目が集まり、校則の変更や撤廃の議論がなされている中、校則とは何なのかという疑問を物語の力で伝える一作です！ ※ぜひ、図書館へ



読書感想文にオススメの青春小説！



『成瀬は信じた道をいく』 宮島未奈著

成瀬の人生は、今日も誰かと交差する。

『ジョニ黒』 永井みみ著

少年アキラと“犬”とのひと夏の冒険が始まる。

ままならない世界の哀しみと愛しさが胸にこみ上げる。

『そしてレコードはまわる』 ヤマモトショウ著

音楽を愛する全ての人におくる、音楽業界ミステリー。

『令和元年の人生ゲーム』 麻布競馬場著

「最強のZ世代の取扱説明書だ！」とも。「あまりにリアル！あまりに面白い！」と、熱狂者続出中の問題作。

『アルプス席の母』 早見和真著

かつて誰も読んだことのないまったく新しい高校野球小説が、開幕する。

『家族解散まで千キロメートル』 浅倉秋成著

家族の嘘が暴かれる時、本当の人生が始まる。どんでん返し家族ミステリ。

『二人目の私が夜歩く』 辻堂ゆめ著

この物語には、二人の私と、二つの真実がある。昼と夜で、一つの身体を共有する茜と咲子。しかし昼が終わりを告げたとき、予想しなかった夜の真相が明かされる。

『それは令和のことでした、』 歌野昌午著

一行を読み逃せば、謎の迷宮から出られない。新しい価値観のゆらぎが生み出す7つの悲劇。

『死んだ山田と教室』 金子玲介著

仲間たちの不思議な日々がはじまった。死んでも終わらない山田の青春に、ぼくらは笑い、驚き、泣く。

『クスノキの女神』 東野圭吾著

不思議な力を持つクスノキと、その番人の元を訪れる人々が織りなす物語。

